

アメリカイヌホオズキ (アメリカ犬酸漿)

名前の意味^{いみ}：アメリカからやってきたイヌホオズキの意味。イヌという言葉は、似^にているけれども役^{やく}に立^たたないものに付ける。

分類：双子葉類、ナス科、ナス属

(ナス科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：ナス、トマト、トウガラシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑の縁

分布：本州、四国、九州

原産地：北米

特徴：小さなナスのような星形の花、黒くてつやのある丸い実

種子の運ばれかた：鳥に食べられる

花弁の数：5枚、合弁^{ごうべん} (花びらがつながったまま落ちる)

花の時期：7—10月

食べ方：毒があって、おなかをこわす

見分け方：イヌホオズキとは、花の間があまり離れていないこと、花冠^{かかん}が少し切れ込んでいること、種子が多いことが違うが見分けるのは難しい。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)